

調達管理番号・案件名

24a01055_パプアニューギニア国トクア空港整備事業準備調査(補完)(QCBS-ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2025年3月31日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	11	第2章【2】第3条(3)①	企画競争説明書11頁に参考資料として「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)」を適用する旨の記載がございますが、一方で同22頁のサ)には、当該ガイドラインでは不適用の温室効果ガス排出量の推計の記載がございます。2010年版と2022年版のどちらのガイドラインが適用となるのでしょうか。	適用ガイドラインは環境社会配慮ガイドライン(2010年4月公布)となります。他方、JICAとしてサステナビリティを推進する観点から、温室効果ガス排出量の推計は、可能な限り行う事が望ましいと考えており特記仕様書に記載しております。
2	14	第2章【2】第3条(9)	環境社会配慮の項目で、「環境社会配慮助言委員会からの助言(「パプアニューギニア国トクア空港整備事業(協力準備調査(有償))ドラフトファイナルレポートに対する助言」(2018年7月2日))」とありますが、この日付が合っているかご確認頂けますでしょうか。	「パプアニューギニア国トクア空港整備事業(協力準備調査(有償))ドラフトファイナルレポートに対する助言」が確定したのは、「2018年7月2日」ではなく、正しくは「2021年2月5日」でした。
3	21	第2章【2】第4条(5)	「環境社会配慮に係る調査」における2項目について、「環境社会配慮助言委員会に対しては、上述のレビュー結果を踏まえ、環境レビュー方針説明と過去の助言に対する対応結果の説明を行う」と記載されており、本事業における同助言委員会WG開催は環境レビュー段階の1回のみと理解します。しかし一方で、企画競争説明書35頁(9)「環境社会配慮に関する資料」では、(2)環境社会配慮助言委員会スコーピング資料及び(4)ドラフト・ファイナルレポート(環境社会配慮部分含)とあり、同助言委員会WGが2回開催されるとも読み取れます。本事業における同助言委員会WGの開催回数をご教示頂けますでしょうか。	企画競争説明書35頁(9)「環境社会配慮に関する資料」の「(2)環境社会配慮助言委員会スコーピング資料」の記載は誤りでした。ご指摘ありがとうございます。本事業においては、環境社会配慮助言委員会スコーピング資料の作成は不要であり、助言委員会WGの開催は、環境レビュー段階の1回のみを予定しております。